

| | | | | |
|--------------------------------|--|------|--|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 社会政策論 / 社会政策 (2 単位) | | 3. 科目番号 | SBMP2134 |
| 2. 授業担当教員 | 小西 洋平 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、学生による発表とディスカッション | | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | 現代社会は、様々な社会問題を抱えている。その問題群に対応する政策が社会政策であり、労働・人口変動・生活保障など幅広い分野をカバーしている。一方で、社会政策が十分に機能しているかという点、不十分な点も多くあり、さらには政策自体が逆に問題を大きくしている場合もある。 この授業では、そのような社会問題や、社会政策について勉強し、少しでも良い方向に向かわせるためにはどうすればいいかを、自分の住んでいる社会のこととしてとらえ、一緒に考えてもらいたい。 | | | |
| 8. 学習目標 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の様々な社会問題について、様々な視点からとらえられるようになる。 社会問題に対する社会政策について調べ、その概要を理解できるようになる。 新聞等で取り上げられている社会問題について考え、自らの意見が発表できるようになる。 | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題 | 【アサイメント(宿題)】 1. 授業は事前学習を前提に進められるので、必ず授業開始までに事前学習を行っておくこと。 2. 授業内容に沿ったグループワークやディスカッションの時間を設けるので、積極的に参加すること。 【レポート課題】 1. 授業内容に沿ったミニレポート(記事、雑誌、ドキュメンタリーの要約や分析)を課すので、毎回出席し、必ず提出すること。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・ 教材 | 【教科書】 石畑良太郎、牧野富夫、佐賀一道編著『よくわかる社会政策 第3版』ミネルヴァ書房、2019年。 | | | |
| 11. 成績評価の規準と 評定の方法 | ○成績評価の規準 ・現代の様々な社会問題や、それに対する社会政策の内容について、理解できるようになったか。 ・社会問題について根拠を基に考え、それに対する自らの意見が発表できるようになる。 ○評定の方法 授業態度および積極的参加度(授業への取り組み・発言)等 20% レポート・発表・コメントペーパー等 30% 小テスト・期末試験等 50% | | | |
| 12. 受講生への メッセージ | 日頃から新聞や雑誌、ニュース等に目を通し、現代社会で起きている社会問題に関心を向けておいてください。どのような社会問題が生じ、その問題の原因は何なのか、どのようにすればその問題を解決することができるのかといった問題意識と同時に問題解決のための方策も考えてみましょう。本授業では、社会政策に関わる問題や社会の動きを知るだけでなく、問題解決に向けて考える力、話し合う力、伝える力も重視します。授業内で設けられたグループワークやディスカッション、プレゼンテーションに積極的に参加しましょう。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内で通知する。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | 社会政策の考え方 (教科書: 序) | 事前学習 | 教科書に目を通し、社会政策の全体像を把握しておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 教科書の「序 社会政策の考え方(pp. 2-27)」を読み、授業内容の復習をする。 | |
| 第2回 | 賃金 (教科書: I) 賃金格差 同一価値労働同一賃金 最低賃金制 | 事前学習 | 教科書 I 章(pp. 28-47)を読み、わからない言葉は調べておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 賃金格差の実態、同一価値労働同一賃金の考え方、最低賃金制度の仕組みについて理解し、説明できるようにする。 | |
| 第3回 | 労働時間① (教科書: II) 生活時間と労働時間 時間外労働 過労死 | 事前学習 | 教科書 II 章(pp. 48-69)を読み、わからない言葉は調べておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 労働時間における問題、時間外労働の濫用の実態と争点について理解し、説明できるようにする。 | |
| 第4回 | 労働時間② (教科書: II) 働き方改革 有給休暇 時間外労働の上限規制 | 事前学習 | 教科書 II 章(pp. 48-69)を再度読み返し、わからない言葉は調べておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 2019 年から順次施行されていた働き方改革関連法の内容について理解し、説明できるようにする。 | |
| 第5回 | 雇用・失業① (教科書: III) 完全失業 正規雇用と非正規雇用 派遣労働 | 事前学習 | 教科書 III 章(pp. 70-93)を読み、わからない言葉は調べておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 正規雇用と非正規雇用の現状と問題点を理解し、説明できるようにする。 | |
| 第6回 | 雇用・失業② (教科書: III) 若者の雇用問題 失業・雇用政策の展開 | 事前学習 | 教科書 III 章(pp. 70-93)を再度読み返し、わからない言葉は調べておくこと。 | |
| | | 事後学習 | 就活とブラック企業等の若者の雇用問題について理解し、説明できるようにする。 | |

| | | | |
|------|---|------|--|
| 第7回 | 労使関係① (教科書: IV) 労働組合 日本型雇用システム | 事前学習 | 教科書 IV 章 (pp. 94-113) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 労働組合の組織率など日本型雇用システムの歴史的な特徴と問題点について理解し、説明できるようにする。 |
| 第8回 | 労使関係② (教科書: IV) ブラック企業とブラックバイト パワハラ防止法 | 事前学習 | 教科書 IV 章 (pp. 94-113) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 労働現場で起きているハラスメント等の問題について理解し、説明できるようにする。 |
| 第9回 | 社会保障① (教科書: V) 生活保護制度 ナショナルミニマム | 事前学習 | 教科書 V 章 (pp. 114-147) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | ナショナルミニマムの考え方、現在の生活保護制度の仕組みについて理解し、説明できるようにする。 |
| 第10回 | 社会保障② (教科書: V) 社会保険 医療保険 介護保険 年金 | 事前学習 | 教科書 V 章 (pp. 114-147) を再度読み返し、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 社会保険の特徴と医療保険、介護保険、年金のそれぞれの仕組みについて理解し、説明できるようにする。 |
| 第11回 | 高齢社会 (教科書: VI) 高齢者福祉政策 高齢者雇用政策 持続可能性 | 事前学習 | 教科書 VI 章 (pp. 148-167) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 日本型福祉社会の特徴と問題、それに対する諸施策について理解し、説明できるようにする。 |
| 第12回 | 男女平等 (教科書: VII) 男女平等政策 M字型就業曲線 貧困と女性 | 事前学習 | 教科書 VII 章 (pp. 168-193) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 男女平等政策の変遷、女性の就業実態とその問題について理解し、説明できるようにする。 |
| 第13回 | 外国人労働者 (教科書: VIII) 国際労働力移動 外国人技能実習生 特定技能 | 事前学習 | 教科書 VIII 章 (pp. 194-215) を読み、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 国際労働力移動の実態、日本における外国人労働者の受け入れ状況について理解し、説明できるようにする。 |
| 第14回 | 国際社会政策 (教科書: VIII) ILO 社会的排除 社会的連帯経済 | 事前学習 | 教科書 VIII 章 (pp. 192-215) を読み返し、わからない言葉は調べておくこと。 |
| | | 事後学習 | 諸外国の社会政策にも目を向け、グローバルな視点から社会問題を理解し、説明できるようにする。 |
| 第15回 | 全体のまとめ (教科書: 序) 社会政策の考え方 | 事前学習 | 授業全体を通して理解できなかったこと、質問しておきたいことを確認しておく。また、教科書序章 (pp. 2-27) を再度読み、これまで学習してきたことを振り返り、社会政策の考え方についてまとめておくこと。 |
| | | 事後学習 | 期末試験に向けて、これまで学習してきたことをしっかりと復習する。 |
| | | 期末試験 | |